
日本、アメリカ、中国の正体

青木弘樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本、アメリカ、中国の正体

【Nコード】

N83500

【作者名】

青木弘樹

【あらすじ】

これは小説ではありません。

小説も書いているので、よかったら見てください。

作：青木弘樹

多くの人は日本とアメリカは資本主義社会で、中国は共産主義社会だと思っっていると思うのですが、実は違うんです。

僕自身いろいろ本を読んだり、留学生に話を聞いたりして分かったことなのですが、本当はアメリカと中国が資本主義社会（弱肉強食社会）で、日本は社会主義社会なんです。

アメリカも中国も、サラリーマン（ビジネスマン）は、ある日突然、解雇されるなんて日常的にあることです。それはまぎれもなく資本主義社会です。

日本は、ヨーロッパとはかなり違いますが、社会主義社会です。だから終身雇用があります。ある日突然、いきなり解雇はほとんどありません。

かのマッカーサーは戦後、日本を視察したとき「日本民族の知能は老若男女問わず15歳前後」と本国に報告したらしいです。

だから資本主義社会つばい社会主義社会を定着させたのです。支配しやすいように。

中国共産党は国民を欺くため、この国は皆が平等に暮らせる共産主義社会だよと言いつけてきました。

しかしそれは大嘘。そもそも共産主義社会など、世界のどこにも存在しないのです。

この先、日本は資本主義社会になっていくでしょう。世界の流れに合わせてざるを得ないことになってくるでしょう。

しかし、それも仕方ないのかもしれない。いい時代が永遠には続かないのです。

国民の意識も少しずつ変わってくるでしょう。

生物は環境に適応していくものです。

焦らず、腹をくくって生きていくしかありません。

どうせ何年生きたって、いつかは死ぬんです。

ある意味じゃ、やけくそでもかまいません。

作り笑いでもいいから、笑顔で生きていこうじゃありませんか。

ま、今の日本で一番へたれなのは政治家と官僚なんですけどね。

とにかく、頑張りましょう！

追伸：

ガンダムユニコーン 第二話を映画館で観て来ました。
面白かった。

上の文章にまったく関係がないのは、ご愛嬌。

(後書き)

ありがとうございました。

小説も書いております。

よろしくお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8350o/>

日本、アメリカ、中国の正体

2010年11月11日00時31分発行